

保育士国家資格

(福祉総合学部福祉総合学科子ども福祉コース)



保育士国家資格

(福祉総合学部 福祉総合学科子ども福祉コース)

I 保育士とは

保育士は、一般に保育所などの児童福祉施設やこども園において子どもの保育を行う者であり、平成15年11月の改正児童福祉法施行により国家資格となった。児童福祉法第18条の4によって、都道府県知事の登録を受け、「保育士の名称を用いて、専門的知識及び技術をもって、児童の保育及び児童の保護者に対する保育に関する指導を行うことを業とする者」と定義されている。

保育士が働く職域には、公立や民間の保育所をはじめ、こども園、児童養護施設や障害児入所施設などの児童福祉施設、地域の子育て支援施設、また、事業所内（企業や病院など）保育施設などがある。

II 保育士をめざすには

本学の福祉総合学部福祉総合学科子ども福祉コースは、指定保育士養成施設である。本学子ども福祉コースで、厚生労働省指定科目を要件にならない全て単位取得すると、卒業と同時に保育士国家資格を取得することができる。

1. 本学の子ども福祉コースの目的は、本学の建学の理念のもと、指定保育士養成施設における専門的な学術研究を通して、国内及び国際社会において子どもの健全な成長を支える保育に貢献する人材を養成することである。
2. 子ども福祉コースの履修を希望するものは、入学年度の授業開始までに、所定の子ども福祉コース登録届を、福祉総合学部事務室に提出しなければならない。
3. 子ども福祉コースへの編入・転入はできない。
4. 保育士の国家資格取得に係る厚生労働省指定科目は別表の通りである。要件を全て満たさなければ保育士の国家資格は取得できないので、留意すること。
5. 保育実習及び保育実習指導の履修については、別に定める履修要件等を満たす必要がある。保育実習の諸手続きや詳細は、保育実習説明会において説明する。必ず説明会等には出席し、手続きの漏れや間違いがないようにすること。なお、保育実習の実習費は、実習年度に、別に定める額を納入しなければならない。
 - * 社会福祉士国家資格の取得もあわせて希望する場合は、国家試験説明会に必ず出席すること。
 - * 本学の福祉総合学部福祉総合学科子ども福祉コースに所属しないで、保育士の資格取得を目指す学生は、一定の受験資格を満たし、各都道府県で実施する保育士試験を受け合格することで、国家資格を取得することができる。

(別表)

指定保育士養成課程に関する科目

告示による教科目			対応する本学開設科目				
系列	教科目	単位数	科目名	単位	配当年次	備考	
教養科目	外国語、体育以外の科目	6以上	情報メディア演習Ⅰa 情報メディア演習Ⅰb ジェンダーと福祉社会 サステイナブル社会論	1 1 2 2	1 1・2 1・2	「情報メディア演習Ⅰa・b」 「Fundamentals of EnglishⅠ」 「生涯スポーツ概論」 「スポーツ科学」を含む10単位以上選択必修	
	外国語	2以上	Fundamentals of EnglishⅠ Oral English for Children	2 2	1 1		
	体育	1 1	生涯スポーツ概論 スポーツ科学	2 2	2 1		
必修科目	保育の質・目的に関する科目	2	保育原理	2	2		
		2	教育原理	2	1		
		2	子ども家庭福祉	2	1・2		
		2	社会福祉	2	1・2		
		2	子ども家庭支援論	2	3		
		2	社会的養護Ⅰ	2	2		
	保育の理解に関する科目	2	保育の心理学Ⅰ	2	1		
		2	子ども家庭支援の心理学	2	2		
		1	保育の心理学Ⅱ	1	2		
		2	子どもの保健	2	2		
	保育の内容・方法に関する科目	2	保育の計画と評価	2	2		
		1	保育内容総論	1	2		
		5	保育内容演習	1	2		
			保育内容演習(健康)	1	2		
			保育内容演習(人間関係)	1	2		
保育内容演習(環境)			1	3			
4		保育内容演習(言葉)	1	3			
		保育内容演習(表現)	1	3			
		保育の表現理解(音楽)	2	2			
		保育の表現理解(造形)	2	2			
保育実習	2	保育の表現理解(体育)	2	2			
	1	乳児保育Ⅰ	1	2			
	1	乳児保育Ⅱ	1	2			
	1	子どもの健康と安全	1	2			
	2	障害児保育	2	2			
	1	社会的養護Ⅱ	1	2			
保育実習	2	子育て支援	2	3・4			
	4	保育実習Ⅰ(保育所) 保育実習Ⅰ(施設)	2 2	2 3			
総合演習	2	保育実習指導Ⅰ(保育所) 保育実習指導Ⅰ(施設)	1 1	2 3			
	2	保育実践演習	2	4			
選択必修科目	保育の本質・目的に関する科目	15単位以上	2	福祉文化論	2	1・2	15単位以上必修
			2	地域福祉の理論と方法Ⅰ	2	2・3	
	2		地域福祉の理論と方法Ⅱ	2	2・3		
	2		社会学	2	1・2		
	2		教育社会学	2	1		
	保育の理解に関する科目		2	障がい児・者福祉サービス	2	1・2	
			2	心理学	2	1・2	
2		臨床心理学	2	2・3			
保育の内容・方法に関する科目	2	子どもの発達と相談	2	3・4			
	2	保育内容の理解と方法Ⅰ	2	3・4			
	2	保育内容の理解と方法Ⅱ	2	3・4			
	2	地域ボランティア論	2	1・2			
保育実習	2	地域ボランティア研修	2	1			
	2	保育内容指導法	2	2			
	2	幼児国語	2	3			
	2	音楽入門	2	1			
	2	保育実習Ⅱ(保育所) 保育実習指導Ⅱ(保育所)	1 1	3 3			
2	保育実習Ⅲ(施設) 保育実習指導Ⅲ(施設)	2 1	3 3				

※保育士指定科目を履修し、福祉総合学科を卒業した学生は、社会福祉主事、児童指導員の各資格を取得できる。ただし、これらの資格は、専門機関・施設で担当職員として任用された後に有効となる任用資格である。

保育士資格・幼稚園教諭免許履修モデル

区分	1年次	2年次	3年次	4年次
学科共通科目群 I（語学）・II（情報）	情報メディア演習 I a①* 情報メディア演習 I b①* Fundamentals of English I ②*			
キャリア形成科目群	基礎ゼミ a①* 基礎ゼミ b①* 福祉グローバル基礎研修① 地域ボランティア研修② 地域福祉研修②		ゼミナール I a①* ゼミナール I b①*	ゼミナール II a①* ゼミナール II b①*
専門基礎科目群	ジェンダーと福祉社会② 女性福祉論② 福祉文化論②			
専門科目群 I （福祉関連科目） 指定保育士養成課程に関する科目	スポーツ科学② 保育者論② 幼児教育原理② 子ども家庭福祉② 社会福祉② 保育の心理学 I ② Oral English for Children ②	保育の表現理解（音楽）② 保育の表現理解（造形）② 保育の表現理解（体育）② 生涯スポーツ概論② 保育の心理学 II ① 保育・教育課程論② 保育内容総論① 保育内容演習（健康）① 保育内容演習（人間関係）① 特別な保育ニーズの理解と支援② 子どもの食と栄養② 子どもの保健② 子どもの健康と安全① 乳児保育 I ② 乳児保育 II ① 保育原理② 社会的養護 I ② 社会的養護 II ① 保育実習 I（保育所）② 保育実習指導 I（保育所）① 子ども家庭支援の心理学②	保育内容演習（環境）① 保育内容演習（言葉）① 保育内容演習（表現）① 子ども家庭支援論② 保育実習 I（施設）② 保育実習指導 I（施設）① 保育実習 II（保育所）② 保育実習 III（施設）② 保育実習指導 II（保育所）① 保育実習指導 III（施設）①	保育・教職実践演習② 地域における子育て支援②
専門科目群 I （福祉関連科目） 指定保育士養成課程に関する科目 （15単位以上選択必修）	社会学② 心理学② 教育社会学② 音楽入門②	保育内容指導法② 臨床心理学②	保育内容の理解と方法 I ② 保育内容の理解と方法 II ② 幼児国語② 幼児文化論② 子どもの発達と相談②	
専門科目群 I （福祉関連科目） 幼稚園教諭免許のみに関係する科目		子どもの生活と社会②	子どもの権利と福祉② 日本国憲法② 幼児教育研究（遊びの援助）② 幼児教育方法論② 子どもの人間関係と観察② 特別支援保育②	教育実習（事前及び事後指導を含む）⑤
年次単位数	39	40	35	11
累積単位数	39	79	114	125

○のなかの数字は単位数を表す。

*印の付した科目は学部必修科目である。

※下線科目は幼稚園教諭課程科目である。

※保育実習 II（保育所）・保育実習指導 II（保育所）と保育実習 III（施設）・保育実習指導 III（施設）はいずれかを選択すること。

保育士資格・社会福祉士受験資格取得履修モデル

区分	1年次	2年次	3年次	4年次
学科共通科目群 I（語学）・II（情報）	情報メディア演習 I a①* 情報メディア演習 I b①* Fundamentals of English I ②*			
キャリア形成科目群	基礎ゼミ a①* 基礎ゼミ b①* 地域ボランティア研修② 福祉グローバル基礎研修① 地域福祉研修②		ゼミナール I a①* ゼミナール I b①*	ゼミナール II a①* ゼミナール II b①*
専門基礎科目群	ジェンダーと福祉社会② 女性福祉論② 福祉文化論②			
専門科目群 I （福祉関連科目） 指定保育士養成課程に関する科目	スポーツ科学② 保育者論② 幼児教育原理② 保育の心理学 I ② 音楽入門②	生涯スポーツ概論② 保育原理② 保育・教育課程論② 子ども家庭支援の心理学② 保育の心理学 II ① 特別な保育ニーズの理解と支援② 子どもの食と栄養② 子どもの健康と安全① 社会的養護 I ② 社会的養護 II ② 乳児保育 I ② 乳児保育 II ② 保育内容総論① 保育内容演習（健康）① 保育内容演習（人間関係）① 保育の表現理解（音楽）② 保育の表現理解（造形）② 保育の表現理解（体育）② 保育実習 I（保育所）② 保育実習指導 I（保育所）①	子ども家庭支援論② 保育内容演習（環境）① 保育内容演習（言葉）① 保育内容演習（表現）① 保育実習 I（施設）② 保育実習指導 I（施設）①	保育・教職実践演習② 保育実習 III（施設）② 保育実習指導 III（施設）①
専門科目群 I （福祉関連科目） 指定保育士養成課程と社会福祉士指定科目の両方に含まれる科目	子ども家庭福祉② 社会福祉② 社会学② 心理学②	子どもの保健② 地域福祉の理論と方法 I ②	障がい児・者福祉サービス② 地域福祉の理論と方法 II ②	
専門科目群 I （福祉関連科目） 社会福祉士指定科目	社会調査② ソーシャルワークの基礎① ソーシャルワークの基盤と専門職 I ② ソーシャルワークの基盤と専門職 II ② 高齢者福祉サービス②	福祉政策② 貧困に対する支援論② ソーシャルワーク演習 I ② ソーシャルワークの理論と方法 I ②	子どもの権利と福祉② 医療ソーシャルワーク論② 社会保障論④ ソーシャルワークの理論と方法 II ② ソーシャルワーク実習 II ② ソーシャルワーク実習指導 I ① ソーシャルワーク実習指導 II ①	司法福祉② 社会福祉経営② ソーシャルワーク演習 II ② ソーシャルワーク実習 I ⑥ ソーシャルワーク実習指導 III ①
専門科目群 I （福祉関連科目）			福祉専門研究 I ② 福祉専門研究 II ②	福祉応用研究 I ② 福祉応用研究 II ②

年次単位数	44	46	32	24
累積単位数	44	90	122	146

○のなかの数字は単位数を表す。

*印を付した科目は学部の必修科目である。

※社会福祉士指定科目への読み替え科目（次頁）を確認すること。

子ども福祉コース 社会福祉士指定科目対応表

厚生労働省による法令指定科目		対応する本学開設科目		子ども福祉コース読み替え科目	
科目名	科目名	単位	履修年次	科目名	単位
①医学概論	医学概論Ⅰ	2	1.2	子どもの保健	2
②心理学と心理的支援	心理学	2	1.2	心理学	2
③社会学と社会システム	社会学	2	1.2		
④社会福祉の原理と政策	社会福祉原論	2	1.2	社会福祉	2
	福祉政策	2	1.2		
⑤社会福祉調査の基礎	社会調査	2	2.3		
⑥ソーシャルワークの基盤と専門職	ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅰ	2	1.2		
⑦ソーシャルワークの基盤と専門職(専門)	ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅱ	2	1.2		
⑧ソーシャルワークの理論と方法	ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ	2	2.3		
⑨ソーシャルワークの理論と方法(専門)	ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ	2	2.3		
⑩地域福祉と包括的支援体制	地域福祉の理論と方法Ⅰ	2	2.3		
	地域福祉の理論と方法Ⅱ	2	2.3		
⑪福祉サービスの組織と経営	社会福祉経営	2	2.3		
⑫社会保障	社会保障論	4	2.3		
⑬高齢者福祉	高齢者福祉サービス	2	1.2		
⑭障害者福祉	障がい児・者福祉サービス	2	1.2		
⑮児童・家庭福祉	子ども家庭福祉論	2	1.2	子ども家庭福祉	2
⑯貧困に対する支援	貧困に対する支援論	2	2.3		
⑰保健医療と福祉	医療ソーシャルワーク論	2	3.4		
⑱権利擁護を支える法制度	権利擁護と成年後見制度	2	2.3	子どもの権利と福祉	2
⑲刑事司法と福祉	司法福祉	2	2.3		
⑳ソーシャルワーク演習	ソーシャルワークの基礎	1	1		
㉑ソーシャルワーク演習(専門)	ソーシャルワーク演習Ⅰ	2	2		
	ソーシャルワーク演習Ⅱ	2	4		
㉒ソーシャルワーク実習指導	ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	1	3.4		
	ソーシャルワーク実習指導Ⅱ	1	3.4		
	ソーシャルワーク実習指導Ⅲ	1	4		
㉓ソーシャルワーク実習	ソーシャルワーク実習Ⅰ	6	3.4		
	ソーシャルワーク実習Ⅱ	2	4		